会社探訪

107

金属加工で90年 目に見えないところからの変革

株式会社和田製作所

代表取締役　和田　憲明 氏

今回登場いただく㈱和田製作所（福山市千田町）は1923年（大正12年）8月に創業し、昨年90周年を迎えた老舗企業である。金属プレス加工を中心に電力量計測器や遮断器など電気関係の部品製造に強みを発揮してきた。生産も一貫体制で、顧客のあらゆる注文に応じることができる。

その一方で、積み上げてきた過去の実績に拘泥することなく、自己変革を図ろうと、情報発信や営業力の強化に力を入れている。和田憲明社長に事業の現状や今後の展望について聞いた。

大阪で創業、2度の戦災をくぐり抜けて

㈱和田製作所は1923年（大正12年）、大阪市で創業した。初代は和田社長の祖父の利三郎氏。製缶から始まったが、翌年には三菱電機の協力工場となり、神戸製作所に製品の納入を開始した。

終戦直前の1945年（昭和20年）7月、三菱電機福山工場（後、福山製作所）の協力工場として移転を打診された。以前から同社は福山駅前にあった福島紡績と取り引きがあり、利三郎氏も福山に土地勘があった。そうした縁もあって福山に移ったが、移転1カ月で福山空襲に見舞われた。大阪時代にも空襲に遭っており、戦時中には2回も被害を被ったと先々代の苦労を偲ぶ。

移転当初は熊野町、次いで西町、住吉町、港町と移り、1971年（昭和46年）7月に事業拡張のため、福山鉄工センター内（千田町）に工場を新築し、現在に至っている。

創業90年を迎えたことについて和田社長は「80年、90年といってもそれぐらいの会社はたくさんある。むしろ下の方では」と謙遜するが、同時に「製造業、特に金属加工業では（90年続く会社は）少ないかもしれない」と自負をのぞかせた。

受け身の姿勢から脱却、営業力強化へ

㈱和田製作所は創業時から電気機械器具製造所として事業展開してきたが、現在も主力は電気メーターの外側部分や漏電遮断器の製造だ。金属

加工の中でも引き延ばした板を曲げたり、折ったりする金属プレスを得意技術としている。「金属の加工なら大体網羅している」というように、顧客のどんな注文にも対応する一貫体制を敷く。

もちろん課題がないわけではない。戦前より三菱電機という大企業を主要な取引先としてきたため、自分たちから売り込むというよりも、受け身の姿勢が多かった。それだけに「これからは営業を強化していきたい」と和田社長は話す。

▲安全が配慮され清掃の行き届いた工場内

▲「精密プレス加工技術ハンドブック」(上)と和田製作所のイメージキャラクター「プレポ」(下)

そこで、営業用のツールとして、同社の持つ技術を紹介するオリジナルの「精密プレス加工技術ハンドブック」を作成。イラストや写真を用いてコストダウンと品質向上を実現した改善事例をわかりやすくまとめている。ちなみにハンドブックには自社のゆるキャラでプレスの妖精「プレポ」が登場し、親しみやすさも演出している。「改めて自社の技術を見直す機会になった。どの会社も持っていると思っていた技術が、実はわが社にしかないものだったと気づいたものもある」と和田社長。ホームページをリニューアルし、今後情報発信にも力を入れていきたいと気合を込める。

新たな企業風土の構築を図るのも先代、先々代の遺産を守るだけでなく、新しい顧客の獲得を目指そうという気持ちの表われだ。

清掃活動はものづくりの基本

「お客さまから『事務所や工場内がとてもきれいですね』とほめられる」とほほえむ和田社長。始業時に全社員でラジオ体操を行うほか、事務所や工場内だけでなく工場周辺道路の清掃活動にも取り組んでいる。おかげでゴミ一つない快適な環境が整っている。

清掃活動はもともと、「目に見えないところに力を入れないと変革はできない」と社員の自発的な活動として始まったそうだが、今では「ものづくりの基本としてやっている」と、企業風土を変えることにも一役買っているという。

自己変革を図り、高付加価値製品を生み出す

製造業の企業はどちらかというと「いいものを作れば売れる」という考え方が主流と言われている。それに対し和田社長は「今はそういう時代ではない。製造業は『こうだ』という固定観念では変革ができない」と認識している。

単にものを作るだけでなく、いかに高付加価値をつけるか、そして取引先にとっての高付加価値とは何かを考えていく必要もある。とはいえ、一度に急激に変わるのでなく、「ジワジワと持続的に変わっていくのが良い」という。

休日にはテニスで汗を流す和田社長。充実した知力・気力・体力で国内を地盤とするものづくり企業として、自社の企業風土の変革を目指していく。

(取材・文　大陽新聞社　塩田　聡)

株式会社和田製作所

■所在地　福山市千田町4-17-23
■TEL　(084) 970-0038
■FAX　(084) 970-0040
■ホームページ
http://www.wadass.co.jp/